

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	31-1
PDCA	主要事業名		文化芸術普及推進事業		部課名		教育部生涯学習課			担当	酒井
										内線	23-7341
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 5,942 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 09.05.01.05.51				
	事業概要等		事業概要： 市民が文化芸術に対する興味を持つきっかけをつくったり、親しみをより深めてもらったりすることを目的に、まちなかや身近な場所で文化や芸術に触れ体験や鑑賞ができる事業を実施する。またそういった文化芸術に関する情報を確実に届ける仕組みを構築する。								
			事業目的：		文化による多様な価値観の形成と地域の包括的環境の推進による文化芸術の社会的価値の醸成を図る。						
			事業内容：		まちなかでアート、美術展、各種公演・展示等、文化活動全国大会等出場激励金支給、半田市文化協会事業費補助						
			問題点・課題等：		長期的に事業を継続しなければ効果がはかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。						
	予算額		主要事業とする理由								
	5,942 千円		市民が文化芸術に触れ親しめる機会を提供することを通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	5,115 千円		人々の創造性を育み表現力を高め、多様性を受け入れて相互に理解し尊重し合うといった心豊かな地域社会が実現する。								
	国費										
	494 千円		目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
	県費		鑑賞・体験事業の満足度		実績値	—	—	—	%		
目標値					—	—	85.0				
その他				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
333 千円				実績値							
				目標値							
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	4,871 千円		展示鑑賞だけでなく体験ワークショップも盛り込んだまちなかでアートや、はんだアール・ブリュット展と同時開催した半田市美術展、愛知県芸術劇場と連携したファミリープログラム（親子観劇）等の来場者アンケートにおいて、目標値を8.7%上回る満足度93.7%を達成し、満足度の高い鑑賞・体験事業の実施による文化芸術振興を図ることができた。								
			成果指標					令和4年度	単位		
			鑑賞・体験事業の満足度			実績値	93.7	%			
						目標値	85.0	%			
C 課題の整理	事業の評価・課題		A あいち国際芸術祭2022のプレイベントとして、現代アート展覧会「HANDA NEW VISION -アートの目覚め-」を半田赤レンガ建物と旧中荻半六邸で開催した。また、みんなの南吉展や赤レンガマルシェ等の市内で開催されるイベントや、七本木池公園、雁宿公園等の施設において、アートパフォーマンスや音楽生演奏、体験ワークショップを行う「まちなかでアート」を実施した。さらに、「半田市美術展」と「はんだアール・ブリュット展」を同時開催することにより、集客の相乗効果を生み出すことができた。 文化拠点だけでなく、日常の中でアートに出会える機会を創出することにより、市民が文化芸術に興味・関心を持ち、愉しむきっかけづくりを図ることができた。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進 半田市文化芸術推進計画に基づき、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術に触れられる環境整備を推進するため、まちなかでアートの実施回数を増やし、市民が日常の中でアートに出会える機会を創出する。特に、子どもたちの豊かな人間性を育むため、ファミリープログラムや親子向け観劇会といった親子で参加できるイベントを開催し、子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるようにする。 また、文化芸術に関するイベント開催等の情報を確実に届けるため、SNSを活用したPRの推進を図る。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献		大きい	⑦コスト削減		ない	
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地		ある	余地		※対象・手段の変更	
			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無		ない	⑧受益者負担適正化余地		ない	